



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月14日

上場会社名 辻・本郷 ITコンサルティング株式会社 上場取引所 東
コード番号 476A URL <https://ht-itc.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒仁田 健
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 安東 容杜 (TEL) 03(5323)3797
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績(2025年10月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	1,805	16.6	167	△29.4	170	△29.5	112	△32.6
2025年9月期第3四半期	1,548	—	236	—	241	—	166	—

(注) 包括利益 2026年9月期第3四半期 112百万円(△33.0%) 2025年9月期第3四半期 167百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	58.20	56.48
2025年9月期第3四半期	98.35	—

(注) 1. 2024年9月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2025年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 当社は、2025年12月19日に東京証券取引所スタンダード市場に上場したため、2026年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2026年9月期第3四半期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

3. 2025年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は前四半期連結会計期間末において非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

4. 当社は、2025年6月13日付で普通株式1株を普通株式2株に株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、2025年9月期第3四半期の1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	2,263	1,710	75.5
2025年9月期	1,672	1,009	60.4

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 1,710百万円 2025年9月期 1,009百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年9月期	—	0.00	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,913	37.2	428	33.8	428	32.1	302	78.8	159.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付書類P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年9月期3Q	2,037,488株	2025年9月期	1,691,988株
2026年9月期3Q	—株	2025年9月期	—株
2026年9月期3Q	1,928,738株	2025年9月期3Q	1,691,988株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は、2025年6月13日付で普通株式1株を普通株式2株に株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnet及び当社ウェブサイトで同日開示いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想など将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加等を背景に、緩やかな回復基調が続きました。一方で、米国をはじめとする海外の政策動向や為替変動、依然として続く地政学リスクに加え、物価上昇による個人消費への影響等、先行きについては引き続き不透明な状況が推移しております。

このような経営環境のもと、企業の人材不足と業務の複雑化を背景とした専門性の高いコンサルティングやバックオフィス業務支援ニーズが引き続き堅調です。また、企業活動のデジタル化に伴い、サイバー攻撃の巧妙化・複雑化に対する懸念が一段と高まっております。これを受け、「サイバーセキュリティ対策」の強化や、ガバナンスとしての「情報セキュリティ体制」の再構築支援に対するニーズが堅調に推移しました。当社グループにおいても、クライアントの事業継続性を支えるべく、最新の脅威に照らしたリスクアセスメントや、技術的・組織的セキュリティの両面からの支援を推進しております。

このような状況のもと、当社グループは、「無数の選択肢から、より良い決断に導く」というMissionに基づき、収益性を意識しながら売上高及び営業利益を重視し、拡大、成長を実現していくことを目標として、各種施策の実施に努めました。

セキュリティコンサルティングの受注増加、伊藤忠商事株式会社とのシナジーによる大企業・中堅企業向け受注の増加、およびソフトウェア販売件数の順調な推移により、売上高は堅調に推移しました。一方で、上期に発生した上場関連費用及び人的資本の積極的投資の影響が継続したこと、ならびに就業環境改善および採用力強化を目的とした2026年4月の市ヶ谷オフィス開設に伴う費用増加により、営業利益は前年同期比で減益となりましたが、今後の成長に向けた基盤構築が着実に進んだものと考えております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,805,056千円(前年同期比16.6%増)、営業利益は167,339千円(前年同期比29.4%減)、経常利益は170,446千円(前年同期比29.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は112,243千円(前年同期比32.6%減)となりました。

なお、当社グループは「DXに関するプラットフォーム事業」の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりません。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末比591,385千円増加の2,263,856千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加534,029千円、売掛金及び契約資産の増加28,578千円、建物附属設備の増加24,382千円、工具器具備品の増加18,355千円によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末比108,898千円減少の553,854千円となりました。これは主に、長期借入金（1年内返済予定を含む。）の減少115,560千円、未払法人税等の減少52,008千円、資産除去債務の増加25,921千円、賞与引当金の増加23,400千円によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末比700,284千円増加の1,710,001千円となりました。これは主に、資本金の増加294,020千円、資本剰余金の増加294,020千円、利益剰余金の増加112,243千円によるものです。

(3) 連結業績予想など将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年12月19日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	940,339	1,474,369
売掛金及び契約資産	278,153	306,732
商品	14,374	8,473
仕掛品	6,309	7,316
貯蔵品	126	143
その他	36,487	38,826
貸倒引当金	△151	△316
流動資産合計	1,275,639	1,835,545
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	18,401	44,000
減価償却累計額	△7,882	△9,098
建物附属設備（純額）	10,519	34,902
その他	29,928	54,612
減価償却累計額	△19,476	△25,804
その他（純額）	10,452	28,807
有形固定資産合計	20,971	63,710
無形固定資産		
のれん	265,682	242,778
その他	—	1,153
無形固定資産合計	265,682	243,932
投資その他の資産		
繰延税金資産	90,139	89,461
その他	20,038	31,206
投資その他の資産合計	110,177	120,667
固定資産合計	396,830	428,310
資産合計	1,672,470	2,263,856

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	78,886	90,296
1年内返済予定の長期借入金	74,947	30,360
未払法人税等	86,509	34,500
契約負債	33,604	29,577
賞与引当金	23,198	46,599
不正アクセス関連損失引当金	71,295	71,295
その他	170,040	172,005
流動負債合計	538,481	474,634
固定負債		
長期借入金	120,135	49,162
資産除去債務	4,136	30,057
固定負債合計	124,271	79,219
負債合計	662,753	553,854
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	324,020
資本剰余金	792,033	1,086,053
利益剰余金	187,684	299,927
株主資本合計	1,009,717	1,710,001
純資産合計	1,009,717	1,710,001
負債純資産合計	1,672,470	2,263,856

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	1,548,011	1,805,056
売上原価	713,640	899,515
売上総利益	834,370	905,541
販売費及び一般管理費	597,474	738,202
営業利益	236,895	167,339
営業外収益		
受取利息	445	1,077
受取保険金	—	2,784
中小企業倒産防止共済解約手当金	6,820	—
その他	1,049	811
営業外収益合計	8,314	4,673
営業外費用		
支払利息	2,998	1,356
その他	477	209
営業外費用合計	3,475	1,566
経常利益	241,734	170,446
特別利益		
固定資産売却益	2,379	—
特別利益合計	2,379	—
特別損失		
固定資産除却損	—	727
特別損失合計	—	727
税金等調整前四半期純利益	244,114	169,718
法人税等	76,496	57,475
四半期純利益	167,617	112,243
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,206	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	166,411	112,243

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	167,617	112,243
四半期包括利益	167,617	112,243
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	166,411	112,243
非支配株主に係る四半期包括利益	1,206	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、「DXに関するプラットフォーム事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年12月19日に東京証券取引所スタンダード市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり2025年12月18日を払込期日とする有償一般募集増資による新株式260,000株の発行及び、2026年1月21日付で第三者割当増資による新株式85,500株の発行を受け、資本金及び資本準備金がそれぞれ294,020千円増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が324,020千円、資本剰余金が1,086,053千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	9,820千円	10,083千円
のれん償却額	22,903 "	22,903 "